

# 令和6年度 自己評価アンケートまとめ

## 職員による自己評価

- ・環境面においては、室内の広さは十分にあり、個別対応（パーテーション対応）も可能である。
- ・職員の配置数は職員の増員を求める声が上がっている。
- ・児童の支援については職員間の連絡帳で情報を共有しているが、内容によっては伝達不足があることが確認できた。
- ・職員の支援の質の向上の為に研修、統一した支援を行う為の話合いの場を設けてほしいという意見が上がった。
- ・各関係機関との関りはなく、今後は必要に応じて学校と連携を図り、情報を共有しながら適切な支援を行っていくよう努めていきたい。
- ・保護者様に安心してご利用いただけるよう、都度、児童の様子や支援内容をお伝えしていく。
- ・非常時の対応については、年に2回避難訓練を行い、虐待防止研修は職場内虐待防止研修用冊子を用いて内部研修を行っている。
- ・感染症対応はマニュアルを策定し、確認、周知が必要である。

## 保護者による評価

- ・環境面、支援提供については、高評価を頂いた。
- ・保護者様への説明等においても良い評価を頂いた。
- ・非常時の対応について、避難訓練の実施についてはご家庭との連絡帳で周知されているが、「どちらともいえない」とう意見を数件頂いた。
- ・緊急対応や感染症対応等の説明については、「どちらともいえない」という意見を数件頂いた。
- ・満足度においてはご家庭より通所を楽しみにして下さっている回答を多数頂いた。



## 事業所内での分析

- ・支援提供についてはほぼ全体のご家庭から高評価を頂いているが、さらに質の向上を目指す為にスキルアップの研修が必要である。
- ・支援についての振り返り、情報共有において、職員内で差が見られるので共通理解が出来るように全体での研修、ミーティングの場を増やしていく。
- ・非常時の対応では「どちらともいえない」と回答が数件あった為、今後、事業所での研修や周知が必要である。
- ・報告、連絡、相談を徹底していく。

## 事業所の強み

- ・室内が広く、個別対応が必要な時はパーテーションで部屋を区切る等、児童の特性に合わせた支援ができる。
- ・職員同士、支援中声かけしながら、状況を把握し、支援することが出来ている。
- ・色々な経験ができるよう、活動内容を工夫し、提供することが出来ている。
- ・児童の様子、支援内容等、日々保護者様に伝えることで情報共有し、信頼関係を構築することが出来ている。

## 事業所の改善点

- ・全職員で情報を共有しながら適切な支援を行っていく。
- ・災害時、緊急対応等、保護者様へしっかりと情報を伝える。

## 事業所の改善への取り組み

- ・5領域の視点から、振り返りと改善を行い個別支援計画書に反映していく。
- ・支援の統一を図っていく為に、事業所内で定期的なミーティングを行っていく。
- ・非常時の対応については訓練、研修を行うことで認識を深めて迅速に対応出来るように努める。